

第44回埼玉県医学検査学会

学会長 岩田 敏弘 (埼玉県立がんセンター)

日時 12月6日 (日) 13:00~14:50

会場 大宮ソニックシティ小ホール 入場無料

市民公開シンポジウム 「がんと言われた日に」

～がんサバイバーシップの始まり～

講演1 メンタルケアの立場から

「がんを受け入れ、がんに向かい合う」

丸倉 直美 先生

(埼玉県立がんセンター リエゾンナーズ)

講演2 ソーシャルケアの立場から

「昨日の備えを明日に活かす

～患者さんの仕事や家計を支えること～」

賢見 卓也 先生

(NPO法人がんと暮らしを考える会理事長)

講演3 メディカルケアの立場から

「医療はサポーター～正しい医療を選ぶこと～」

勝俣 範之 先生

(日本医科大学武蔵小杉病院 教授)

私たち臨床検査技師は、今回「がんを識(し)る」をテーマに学会を行います。その中で市民公開シンポジウムとして患者さんの立場でがんに向かい合う内容を企画しました。もしあなたが突然「がんですね」と言われたらどうしますか？

どなたでも参加いただけますが満席の場合は、立ち見になる場合もございます。

第44回埼玉県医学検査学会 実行委員会

主催:(公)埼玉県臨床検査技師会